

北海道日本ハムファイターズが道内市町村を応援する取り組み「北海道179市町村応援大使」は、2013年にスタートし、2023年からは「北海道応援大使プロジェクト」としてリニューアルしました。地域活性化を目的に、選手の皆さんにご協力いただいています。

2025年は後志管内の20市町村が対象エリアに選定され、その一環として、11月20日（木）に学校訪問を行いました。

当日は、札幌市出身の今川優馬選手と奈良間大己選手が大川小学校を訪問。児童とキャッチボールを楽しんだり、質問に丁寧に答えたりと、心温まる交流が行われました。

今川選手、奈良間選手、そして球団関係者の皆様、本当にありがとうございました。



▲ 選手とキャッチボール！



▲ 大盛り上がりの質問コーナー

問合せ 政策推進課 政策調整係 ☎ 21-2117



円山公園でジンパと焼き芋イベントを開催！ (地域おこし協力隊 秋保隊員リポート)

11月22日（土）から24日（月・祝）までの3日間、円山公園でジンギスカンパーティ（ジンパ）と焼き芋のイベントが開催され、約300名が来場しました。

このイベントを企画・運営したのは、円山公園の施設管理やイベント企画などを担当している法人地域おこし協力隊の皆さん。7名のメンバーが、公園のイベント開催のほか、特産品の開発にも取り組んでいます。公園内の「えぞうしカフェ」では余市産の食材を使ったメニューを提供していて、人気のステーキサンドのグレイビーソースには余市産ワインが使われています。

今回で13回目となるジンパは、手ぶらで来て、自分で焼いて楽しめるBBQスタイルで、2024年から発売している「余市ジンギスカン」を食べることができるというもの。このジンギスカンは「りんごのほっぺ」と余市産ワインを使って味付けした自信作で、おいしいと好評です。イベントに来場されたお客様も「外のジンパは寒いけれど、おいしかった！」と感想を語っていました。

ジンパとあわせて、初開催となった焼き芋イベントでは、公園内で出る枝や枯葉を活用。当日はこども縁日も開かれ、射的・輪投げ・型抜きなどで遊べるコーナーも子どもたちに人気でした。

そして、1月17日（土）から2月15日（土）は「雪まつり」イベントも開催されています。「雪のなが~い滑り台」で遊べるほか、土日にはポップアップイベントも予定しているそうです。協力隊の岡村隊員は「冬もぜひ、円山公園に遊びに来てください！」と笑顔で話してくれました。



▲ 昨年の雪まつりの様子

問合せ 政策推進課 政策調整係 ☎ 21-2117

余市町の空間 放射線量率 | 11月1日～11月30日の本町の空間放射線量率は「平常レベル」でした。

（最高値：70nGy/h、最低値：35nGy/h、平均値：39nGy/h）※平常時は10～60nGy/h程度